

第28回透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会 学術集会・総会
パシフィコ横浜 アネックスホール 第1会場
ライブセミナー1 【Just do it !! No IN.PACT, No Impact.】
2023年3月4日(土)10:30~12:00

VAIVT血管内治療医について 適正使用指針

医療法人心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科
池田 潔



シャントDCB適正使用指針

～ 2022年9月

＜術者基準＞

- 日本心血管インターベンション治療学会認定医
- 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医
- 日本血管外科学会血管内治療認定医
- 日本透析医学会VA血管内治療認定医
- 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医
- **日本メドトロニック株式会社が行った教育コースを受講していること**

VAIVT認定専門医 2021年8月～

認定資格要件

- ① 申請者は認定申請時点で本会**個人会員**であること
- ② 申請者は本会が定める申請書をもって血管内治療施行施設での勤務経験を申告するとともに、申請者がVAIVTを施行可能な医師に十分な知識、技術、経験を有する旨の証明を、所属上長、所属施設長あるいは本会評議員の署名をもって行う
- ③ 申請者は認定申請時点で、**バスキュラーアクセスに関する学会発表**あるいは**論文発表を1回以上行っていること**(発表、掲載等の様式は問わない)
※バスキュラーアクセスに関する内容であれば、当会事業での発表に限らない

VAIVT認定専門医

2021年度認定者 184名

2022年度認定者 56名

VAIVT血管内治療医 2022年10月～

認定資格要件

- ① 術者として**200例以上のVA血管内治療経験**を有すること
※VAIVT認定専門医申請時に同時申請可
- ② 症例内容審査通過後に**eラーニング受講**(日本メドトロニック株式会社)
- ③ 認定者は名称を「**VAIVT血管内治療医**」とする
- ④ 認定受付期間は2022年10月1日から2027年11月末日までとする
- ⑤ 認定審査料を2000円および認定書発行料を2000円とし、
認定者には認定証を交付する
- ⑥ 認定期間は認定日から**5年間**とし、認定期間満了前に
更新手続き等に関する通知を認定者宛てに行う

VAIVT血管内治療医

2022年度認定者 117名

シャントDCB適正使用指針

2022年10月～

＜術者基準＞

- 日本心血管インターベンション治療学会認定医
- 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医
- 日本血管外科学会血管内治療認定医
- 日本透析医学会VA血管内治療認定医
- 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医
- **透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT血管内治療医**
- **日本メドトロニック株式会社が行った教育コースを受講していること**

シャントDCB適正使用指針

<適応>

- DCB を使用する前に
優先すべきその他の治療 〔 再建、ステントグラフト、バルーン拡張、
カッティングバルーン、スリッピング防止型バルーン等 〕
がないか十分に検討すること
- DCB を使用しても開存期間延長効果が得られないと判断した場合に
むやみに繰り返しDCB で治療せず 再建などの適切な治療を行うこと
- 原則として、**再狭窄病変**に使用することが望ましい
- **血栓性閉塞病変**には使用しない
- 狭窄率**50%以上**、病変長**10cm 以下**の病変に使用する
- バルーンによる前拡張で**30%未満の残存狭窄**で**重篤解離が無い**病変にDCB を使用する

シャントDCB適正使用指針

＜施設基準＞

- 合併症が生じた際に、**再建等の対応が自施設で可能**であること
もしくは**対応可能な施設と連携**していること
- **X線透視装置**を備えていること
- **シャントPTA** を**施行**している施設であること

シャントDCB適正使用指針

<レジストリー>

- 施行した症例は以下の6学会合同シャントDCBレジストリーに全例登録する

日本心血管インターベンション治療学会

日本インターベンシヨナルラジオロジー学会

日本血管外科学会

日本透析医学会

日本透析アクセス医学会

透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会

- この登録期間は2年間とする
但し、登録状況により期間を見直す場合がある

【重要なお知らせ】 シャント DCB レジストリー症例一括登録について

会員 各位

シャント DCB 適正使用指針作成関連協議会
日本心血管インターベンション治療学会
日本インターベンシヨナルラジオロジー学会
日本血管外科学会
日本透析医学会
日本透析アクセス医学会
透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会

平素より学会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省承認のシャント DCB 適正使用指針において、シャント DCB を使用した症例は全例レジストリー登録することが定められています。しかしながら、2022年9月現在、登録状況が芳しくない状況で、登録率は対象症例のおよそ 20%程度に留まっております。シャント DCB は、適正使用指針に則り運用することで厚生労働省から承認を得たもので、レジストリー登録は、外すことのできない重要な条件です。

シャント DCB を使用されている会員の皆様には、施設登録および症例の全数登録をお願いいたします。

また、登録の負担を少しでも減らすことができるよう、過去の症例に関してリスト(Excel)形式で一括登録が可能となっておりますのでお知らせ致します。

一括登録の方法はレジストリーのサイトからご確認ください。

- レジストリー登録環境 <https://www.nexis-edc.jp/DCBRegistry/Account/Login.aspx>

- ・ レジストリーの一括登録は過去症例に対して、一施設一回のみ可能となります。一括登録以降の症例については、1例ずつのご登録となりますのでご注意ください。
- ・ 一括登録後、データの編集はできません。症例の重複登録や誤登録に十分ご注意ください。

- 一括登録の締め切り 2022年10月31日(月)

(レジストリー登録に関するお問い合わせ)

株式会社ネクシス内 シャント DCB レジストリー事務局 (担当: 平野・市来)

TEL: 092-472-5777 / FAX: 092-415-1157

e-mail: dcbregistry@midinfo.co.jp

IN.PACT™ AV DCB 実施基準教育プログラム

- 教育プログラムはe-Learningにて実施中です
- 新規ご登録の上、
当プログラムの受講をお願い致します
- 当プログラムの受講(登録)前までに
シャントDCB適正使用指針に記載の**術者基準**、
施設基準を満たす必要があります

IN.PACT™ AV DCB 実施基準教育プログラム



IN.PACT™ AV 薬剤コーティングバルーンカテーテルは、承認条件に基づく“シャントDCB適正使用指針”に則り、すべてのユーザーにトレーニングの受講が義務付けられています。
トレーニングの受講には、オンライン登録が必要です。本サイトでは、申込みから修了まで一貫して行えます。

IN.PACT™ AV DCB実施基準教育プログラムへの登録
下記URLにアクセスし、当プログラムへの登録をお願いします。
<https://www.avaccess-dcb-net.jp>





ご登録に際して

実施基準教育プログラムの受講には、登録が必要です。
当プログラムを受講(登録)するためには、ご所属施設が下記施設基準に該当し、ご登録者が下記の術者基準のいずれかに該当している必要があります。

【施設基準】 <ul style="list-style-type: none">合併症が生じた際に、再建等の対応が自施設で可能であること、もしくは対応可能な施設と連携していることX線透視装置を備えていることシャントPTAを施行している施設であること	【術者基準】 <ul style="list-style-type: none">日本心血管インターベンション治療学会認定医日本IVR学会専門医日本血管外科学会認定血管内治療医日本透析医学会認定血管内治療医日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医
--	---

受講のながれ

- 1 “新規登録”を行い、パスワードを取得してください。
- 2 登録いただいたユーザーID及びパスワードを入力の上、ログインしてください。(新規登録後、続けて受講いただくことも可能です。)
- 3 実施基準教育プログラムのトレーニング(オフサイトまたはオンラインいずれか)を受講後、“確認テスト”に合格いただき修了となります。
- 4 修了証は、本サイトより出力可能です。

全ユーザー

新規登録 ▶ トレーニング受講 (オンサイトまたはオンラインのいずれかを実施) *詳細は画面参照 ▶ 確認テスト合格 ▶ 修了 (修了証発行)

Medtronic